

# 福竜丸だより

(財) 第五福竜丸平和協会  
〒136 東京都江東区夢の島3-2  
都立・第五福竜丸展示館内  
電話 (521) 8494

長崎にも来られたハーグ市長ハーバマン氏の歓迎あいさつがあり、ついで同氏と面識のある被爆者山口仙二氏が長崎市長のメッセージを披露して感動的な幕あけとなった。私は日本弁護士連合会長のメッセージを読み上げ、日本の弁護士は核兵器廃絶と被爆者援護

九月二日から三日間、ハーグで反核国際法律家会議が開かれた。これは一九八八年四月に設立され、ストックホルムに本部を置く「反核国際法律家協会 IALANA」の第一回世界大会である。

## 反核国際法律家会議に出席して 第五福竜丸を思う

松井 康浩

の活動について述べた。IALANA会長ガスタフソン(スエーデン国会議員)は、核抑止力論の誤りを説き、全世界の法律家が力を合わせ、各国政府に法を守らせることをもって核兵器の廃絶に貢献すべきだと述べた。

分科会は八つあり「生き残りの権利」で山口仙二、「平和の権利」で最上敏樹、「核兵器と訴訟」で私、「核兵器とエコロジー」で根本弁護士が報告した。私は一九六三年東京地裁で世界最初の原爆は国際法に違反するとの判決があり、原爆は国際法の禁止する残虐兵器であり、その使用は必然的に無差別爆撃となるから国際法に違反するといふ判決理由を紹介した。そして核抑止力論のまやかしと核廃絶は米ソの対話ではなく諸国民の運動によってこそ達成できること、再び被爆者をつくらぬための核兵器廃絶は被爆者救済を原点とすべきことを説いた。

アメリカ代表の発言によれば、核兵器は十三州、十七工場で生産されてお

り、約一〇万人がこれに従事しているが、その生産、運搬、廃棄物処理の過程で多くの人が被曝し、ガンが多発し、訴訟になっているとのことであった。そこで各国の被害の実情につき情報を交換し、協力し合うことになった。

アメリカ代表の右発言は注目された。ブルトニウム、ウラニウムの生産、運搬の過程での被曝は秘密にされてきた。核実験による被害も全面的に明らかにされているといえるであろうか。世界最初の核実験場であるネバダ周辺からも被害者が多く出ているらしいし、ビキニの被害についても私たちは全面的には知りえていないのではなからうか。原住民の被害の実態調査は終了しているのか。被害は救済されているのか。第五福竜丸は、日本のビキニ被害の象徴的存在であるが、日本の被害の全体像を明らかにし、そこからどのような教訓を得、今後どのように世界に訴えていかなければならないのか。私は国際会議を終えて、平和協会のやるべきことの広さを思った。

反核国際法律家会議日本代表団長  
第五福竜丸平和協会監事



## 協会へ寄付寄せられる

十月五日、故榎山義夫副会長の遺族より協会に百万円の寄付が寄せられました。寿子夫人から故人の遺志にそって丁寧な手紙を

いただきました。アジアの留学生も見学 十月の来館者は約二万名。昨年の二倍以上で、埼玉、千葉からの中学校の来館も多くなりました。

## 母の願い

武石 美知子

秋桜が咲きみだれ、澄み切った風が心地よい。が、外気とはまったく別、私の身体には戦慄が走り小刻みな鼓動が止らない。第五福竜丸展示館をたった今出たところ。目の前には湾内とはいえず、ビキニに続く海、こわい海、あの日に続く海が広がっています。何度か来館していますが、帰りはいつも決ってこの戦慄がはしる。娘と一緒に時は知らず知らずのうちに握る手と手に力が入っています。久保山さん一家の悲惨な写真、いつも娘と息子たちと私にみえてしまう。いやだ、絶対にいやだ。私は母なのです。隣の奥さんも母なのです。そして学校へ行けばPTAのお母さんたちすべてが母なのです。純粹な心で子どもたちを守りたい。想いは同じはずです。

このところ、我家はちょっとゆれてます。長男(高三)が家を出るというのです。なんでも一年間国内ボランティアというのに行きたいというのです。私はといえど口走るくせに本当に行ってしまうといわれてただ呆然としてしまふ。は固いようです。次男は高二でルポルターージュクラブに入っています。去年は三宅島へ出かけ、NLP問題をつぶさにルポしてきました。今年も農業問題に取り組み、和歌山県の紀の川へ行ってきました。来年は受験で、これまでのルポの体験の中から愛知県にある学校をめざしている様で兄同様、家を出るつもりらしい。娘は丁度、第二反抗期と思

山梨県の小学校や石川県の中学校がはじめて修学旅行で来館、千葉の朝鮮中学校の見学もあります。埼玉県朝霞二中の約三百名の中学生は五、六名の班に別れて午前十時から午後四時までそれぞれ見学、春期をむかえつつあるらしく順調に口答えをしたりイライラしたり、かと思えば鏡にむかって髪をさわっておすまし……。私はこの子たちに真理を探究してほしい。どこにいようと隣人を愛し正しさは憶せず口に出し行動してほしい。わたしの子どもどももたちが戦争へいかないですむために。そうだ、長男がたつ前に家族で第五福竜丸を訪れよう。多分とてつもなく寒い日の午後、冷たい風がキラキラ光る海から吹きつけているだろう。その中で確認しよう。わたしたちはあらゆる核兵器の廃絶を訴えますと。息子たちよ翔べ、翔んでいけ！そしてその地でこの日を想い隣人を愛し、その羽をひろげなさい。(正則高校PTA、江東区大島在住)

班毎に先生が記念撮影、一日中さわやかな声が館内に溢れました。十月二十六日には、日ノ婦人セミナーのよびかけで三十人の訪日ソ連親善代表団が訪れ、十二日には広島で開かれた核戦争防止国際医師会議に参加したアメリカのジャーナリストが来館。十五日夢の島公園グラウンドで開かれた「留学生オリンピック」に集ったアジアの留学生もたくさん展示館を見学しました。国連軍縮週間東京地婦連の見学会、「子どもたちからおかあさんも見にいって」といわれて来ました」とPTAの見学会もいくつかありました。十一月の団体申し込みはすでに百五十名、社会科見学の季節です。和歌山で「原画展」 絵本「わすれなないで」第五福竜丸ものがたり(赤坂三好画、金の屋社)の「原画展」が十一月中旬の誕生の地和歌山県の幾つかの中学校で開かれることになりました。新宮市にある光洋中学校では毎年三年生が第五福竜丸展示館を訪ねていますが、その成果をいかして、準備がすすんでいます。



展示館前の久保山記念碑の除幕式で (1976.5.29)。碑の左横が筆者

第五福竜丸被災—それは世界中の人々の目を見張らせ恐怖を持たせました。それから四十年近い今も、反核のたたかいから一歩も引き下ることの出来ない証人として、福竜丸は、東京の夢の島にその姿を残しています。

### 焼津の教師と生徒たち—第五福竜丸の教え

利波 多美

ひどい目に合わせて、まだ足りないのかよ」と怒る男子生徒。「福竜丸の人たちかわいそうね。やけどをして髪の毛が抜けて、いのちまで危いのでしょう」「なんでピキニまでいったんだろう。私の親戚の人もその中にいるのよ。どうしよう」と泣き出さんばかりの女子生徒—。

た。マグロは海に捨てられ、漁業の町焼津は死の町のようになった。この塩川教授の助手の一人として活躍された塚本光男先生が、私の教室にお出下さったことがあります。生徒たちはこれ幸いと、塚本先生に「先生、原爆はどうして作るのか。種類はいくつもあるのか。教えてや」ということで、二日間も放課後のロングホームルームが原子爆弾についての学習にあてられました。

いる建設会社にも原爆症に悩んでいる奥さんを持った社員、原爆手帳を持って一ヶ月に数度病院に通っている課長などハンデーを背負った人がたくさんいます。今年の八月六日、老社員がポツリとつぶやくようにいった言葉が、印象的でした。「あの日も、こんな暑い夏の日だった」と、窓の外をながめながら—。この老社員はあと一ヶ月で停年退社をします。真面目で一本気な性質でしたが、出世もせず、また再就職の当もありません。確実に近づく停年の日を過しています。そして時に口にする言葉は『生きていただけでも幸せだ』。余程の地獄を見たのか、八月六日だけは好きな晩酌もやらず、家路へ直行します。日夜仕事に忙殺されている私ですが、広島市の原爆に対する憎しみと恨みは決して忘れないでしょう。それに付けても自分のふるさと焼津の第五福竜丸の被災は絶対許せないと思っています。この手紙を読み終えて、私は焼津の教師だったよろこびと、教育の大切さ、「教え子をつたえたい戦場におくるな」の誓いをしみじみと思ったことでした。(元焼津中学校教諭・三島市在住)

### 平和随想 (34)

三宅 泰雄



九月十二日の閣議で、一九八九年版防衛白書が了承されたとの新聞記事を読み、その白書の要旨を拾い読みしてみました。

ウラジオストックには太平洋艦隊や、全体の六割もの爆撃機が対峙しているのだそうです。これらは、日本に対する大きい脅威であり、わが国としては、それに対する自衛力の強化が必要であるとの結論に導かれています。私たち、軍事の素人には、なぜソ連が日本の周辺に、これだけの大軍備を備えねばならないのか、理解に苦しむところです。

後ただちに日米安保条約を締結し、ついで一九五四年には自衛隊と称する軍隊を再建しました。また国内には、ひきつづき強力なアメリカ軍が常駐しています。日本が再建した軍備も、年を追って増大の一途をたどり、今では世界でも、屈指の軍事大国になりました。

衛隊と在日米軍が主力となります。アメリカはこの対ソ戦略をすでに公表しているそうです。アメリカが本年の九月から、はじめての大規模な八九年度太平洋演習(PAC-OFF八九)には、日本の海上自衛隊と航空自衛隊の主力、陸上自衛隊二個連隊も、これに加わっている由です(アエラ九月二十六日号)。こういう話を聞けば、ソ連が極東方面に強力な軍備を配していることも、あたりまえのことと考えられます。